

令和2年度 学校経営方針 養父立伊佐小学校

基本理念

養父市が育むところ豊かで自立する人づくり

学校教育目標

・憲法
・教育関係法規
・国及び県の教育方針
・市の教育方針

ふるさとを愛し 自らを高め 未来への
道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成

・地域の願い
・児童、保護者の願い
・教職員の願い
・学級経営方針

めざす学校像

- 1 共に学び、その成長を喜び合える学校
- 2 挨拶と歌声の響き合う学校
- 3 地域と共にあり、信頼される学校

めざす児童像

知 自ら学び、
進んで学習する子

徳 思いやりと正しい心を持ち、
自分も人も大切にする子

体 命と健康を大切にし、
ねばり強くやりぬく子

めざす教師像

1 使命感と情熱にあふれ、
互いに高め合える教職員

2 子どもに寄り添い、
学ぶ楽しさを教えられる教職員

3 保護者や地域の声を聞き、
共に歩む教職員

本年度の重点目標

■ふるさとを愛し、自らを高める児童を育成する

- 児童の主体性を育てる教育活動を推進し、「命の大切さ」「本物の感動」「人や社会とのつながり」「自己有用感」を高め、自立して未来に挑戦する意欲や態度を育成する。
- 伊佐校区の特性を生かした様々な体験活動や地域の人材を生かし、「ふるさと伊佐や養父市の素晴らしさ」を実感させ、ふるさとを愛する児童を育成する。

■知・徳・体のバランスがとれ、「確かな学力」を備えた児童を育成する

- 主体的対話的で深い学びをめざし、授業改善、魅力のある授業、「学習タイム」、「ひょうごがんばりタイム」の充実による学力の向上を図る。
- 道徳科を中心とした、心の教育を推進し、学校や家庭生活で自ら考え判断し、自他共によりよい生活を実践する態度を育成する。
- 発達段階に合わせた「運動プログラム」を工夫し、体力や運動能力の向上を図るとともに、生涯にわたって健康・安全な生活を送るための基盤を培う。

■「チーム伊佐」をめざす

- 学校を拠点として家庭、地域が連携し、児童の教育・成長に関わる仕組みをつくと共に、学校運営協議会と連携したよりよい教育環境づくりを推進する。学校から家庭・地域への効果的な発信を推進する。
- 教職員間のコミュニケーションと共通理解を図り、保護者および関係機関との連携を密にして、全児童のよりよい成長に向けた教育活動を推進する。

実践項目

知

- (1) 魅力ある授業づくり
①児童が「わかる」「わかった」を大切にする授業
②主体的に取り組む姿勢や思考の連続する学び ③授業のUD化、AL化
- (2) 言葉の力を育成
①書く力を伸ばす（日記、作文、辞書の使い方など）
②話す力を伸ばす（スピーチ、対話タイムなど）
- (3) 学習タイムの充実
①基礎学力の定着（漢字、計算）
- (4) 学習習慣の確立
①家庭学習の充実 ②「そうあんくんの日」の活用
- (5) 読書活動の充実
①朝読書、おすすめ20冊の推進 ②チャレンジ50

徳

- (1) 学級経営、生活指導の充実
①いじめ、体罰の根絶 ②生活アンケート、個別相談の実施
③職員の共通理解、子どもを語る会の充実
- (2) 縦割り班活動の充実（清掃、集会活動、児童会活動）
- (3) 特別支援教育の充実
①児童支援委員会の開催 ②出石特別支援学校との交流活動の実施
- (4) 道徳教育、人権教育の推進
①道徳参観日の実施 ②但馬小学校道徳教育研究大会の開催
- (5) 防災教育の推進
①予見、判断、適切な行動力の育成

体

- (1) バランスのとれた身体づくり
①体力テスト結果からの課題とその対策 ②「やっぷーアップ」の推進
③発達段階に応じた運動遊びや運動の推進
- (2) 特別支援教育の充実
①児童会活動とのタイアップ（全校遊び、縄跳び大会） ②休み時間の確保
- (3) 生活指導、保健指導の充実
①歯磨きの習慣化や歯科指導の充実 ②給食指導や睡眠時間の確保
③ネットやスマホの利用と健康についての指導
- (4) 心の安定、ケアの充実
①あのね週間、個別相談の充実

環境教育＝ふるさと教育

- ふるさと意識の醸成
- 環境保全のための実践的活動力の育成
・委員会活動、クラブ活動からの発信
・5R運動、ボランティア活動
- 外部人材、関係機関との緊密な連携
- コウノトリが生息する地域づくりへの参画
- 地域素材の開発、教職員の地域探検

勤務時間の適性化

- 心身ともに健康な教職員集団をつくる
・定時退勤日の徹底、ノー会議デーの実施
・記録簿の正確な記載によるタイムマネジメントの確立
・子どもと向き合う時間をつくり出す
・学校ルールブックの活用
- 全職員が参画する業務改善の体制の継続
・電子化の推進

家庭・地域との連携

- 学校への理解と協力を生み出す情報の提供
・HP、学校通信、学級通信、メディアの活用
・アンケート、学校評価の効果的な活用
- 足で出会い、声で知り合い、顔でつながる
・地区の行事への積極的参加
- 「そうあんくんの日」
・PTAとの協働…そうあんくんの日の親子のめあて
・生活の振り返り、自主学習の取組
- SNS・ゲームのルールづくり
- PTA・地域と連携した防災教育・訓練の実施

小中一貫 園・小・中連携

- 「一貫性」と「連続性」、「互惠性」のある校種間連携の推進
・6年生の中学校登校（年3回）
・SNS・ゲームのルールづくりの取組
・近隣小学校との連携、伊佐こども園との連携
・学び方の統一